



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師
上ル七観音町637 第41長栄
カーニープレイス四条烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

新春特集

会員投稿	特集2 ふくろう (4・5面 6面)	特集1 送り火と北 (2・3面)
------	-----------------------------	------------------------

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度
(所得補償、傷害疾病保険)
- ◆針刺し事故等
補償プラン
- ◆自動車保険・火災保険

☎075-212-0303



TTPはトロイの木馬

理事長 関 浩

京都府保険医協会会員の皆様、
2013年新年明けましておめでと
うございます。

12年8月、消費税増税法と同時に成
立した社会保障・税一体改革関連法案
のうち、「社会保障制度改革推進法案」
は、改革実現の期待とは裏腹に毒餌で
した。その内容はこれまでの「国民皆
保険の堅持」を放棄し、今後の社会保
障制度改革を、自助・共助・公助の組
み合わせと家族の助け合いを基礎にお
くとした。社会保障制度における
公費負担を「社会保険料に係る国民負
担の適正化」のために行うものと位置
づけ、その主要な財源を消費税とする
ことで公費負担の意味を明確に書き変
えてしまったのです。

保険給付の適正化、介護保険の保健
医療サービス及び福祉サービスの適正
化等と耳触りの良い「適正化」という
言葉が並びますが、何のことはない給
付制限と同意語です。生活保護制度の
見直しも行い、個別具体的改革は当事
者が入らない「改革国民会議」で議論
するとししました。社会保障や国民皆保
険制度解体の大波が国政レベルで押し
寄せようとしている中、地方自治体が
主な舞台となり、一体改革が構想する
25年の医療・介護サービス提供体制
それは、入院から在宅へ、医療から介
護へ、施設から在宅へ、保険給付から
自助・互助へという方針に沿い、医療
や介護に必要な公費負担を「提供体制」
の側面から抑える仕組みです。

在宅医療に偏重した政策で、本当に
地域の患者の生命、健康を守るで
しょうか。地域医療が不備なままで、
地域包括ケアなどありえませんか。まし
てや、現状でも問題だらけの不十分な

地域医療体制を放置したままで、その
補完のために地域包括ケアで代替でき
るのかなまやかしくは許されません。
本来、推進の中心は、保健所をはじめ、
公的機関が担うべきと考えます。地域
中核病院、開業医医療の再評価を通じ、
日本の社会保障制度を守るこの大切
さを国民に伝えていきたいと存じます。

TTPは多国間において、全ての関
税とあらゆる貿易障壁を取り除く協定
です。関税を撤廃することによって工
業製品の国際競争力を高めるといいま
すが、日本のGDPのうち輸出が占め
る割合は高々12%程度、今の輸出産業
の苦戦は関税によるものではなく、円
高によるものです。農業分野では、遺
伝子組み換え食品や防腐剤にまみれた
海外の安い食品が輸入され、農業は根
こそぎ破壊されてしまいます。非関税
障壁の撤廃によつて規制緩和が進め
ば、経済が上向きといいますが、需要
不足の現在、これまで以上に海外から
の供給能力が高まればデフレがさらに
加速することになります。TTP協定
を門内に引き込めば、「ネガティブリス
ト方式」、「投資家対国家間紛争解決条
項」などの武器を携え、国際的競争力
を持つヘルスケア産業が奔馬のごとく
流入するでしょう。協会は11年に発効
した韓米FTAが韓国医療に及ぼす影
響を調べるため医療視察を行い、問題
点を「TTPは国民医療を破壊する」
というブックレットで明らかにしまし
た。TTPは韓米FTAよりさらに米
国有利の協定です。数年後、日本から
主要な製造業が失われ、失業率が高ま
り、農業は壊滅し、医療もスカスカの
国民皆保険制度になつてよいはずはあ
りません。TTP参加は反対です。

かもわけいかづちじんじゃ 賀茂別雷神社

(通称、上賀茂神社)

加藤 賀千雄 (京都北)

1994年に世界文化遺産に指定されてからは有名な存在になり、観光
客も増えましたが、ひと昔前、ひと気のない境内は子ども達の格好の遊
び場でした。

私は、雪の薄化粧の景色が好きで墨でスケッチしてみました。

謹賀新年

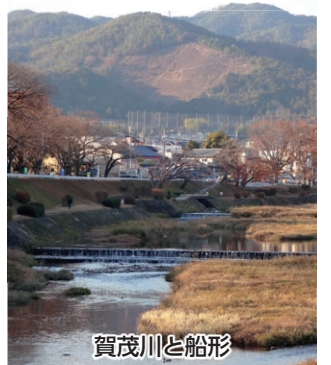
2013年 元旦

本年もよろしくお願いいたします

京都府保険医協会 理事者・事務局一同

特集1
地域紹介
シリーズ7

送り火と“北”



賀茂川と船形

地域紹介シリーズの第7回目は「北」。京都北医師会の加藤賢千雄・田中嘉人・鍵本伸二氏、オブザーバーとして垣田さち子協会副理事長(西陣)が加わり、「北」地区について語りあっていた。ゲストとして、五山送り火の一つ、北区西賀茂船山の「船形萬燈籠」保存会の会長でもある西方寺住職の川内哲淳氏から送り火について伺った。

送り火の始まりと西方寺

川内 「送り火」はいつから始まったのか、歴史学の研究者などとお会いする機会があることに専門的な見解をお聞きしています。皆さんおっしゃるのは、京都が江戸時代になるとそれなりの記録が残っているが、それ以前の平安京当時の記録は残っていないのだそうです。ですので、いつ始まったのかはいまだにわかっていません。

では、何を根拠に送り火の歴史を考えているかというと、貴族の日記や和歌の中に見られる記載から、推測していくわけです。大宮は、嵯峨野と並んで当時の貴族たちが好んでよく立ち寄られた土地なので、そういう史料に記述が見られます。私が住職を務めている西方寺はもとが天台宗のお寺でした。天台宗の開祖は伝教大師最澄ですが、第3世天台座主の慈覚大師円仁(794-864年)によって、847(承和14)年に開



guest 川内 哲淳氏
浄土宗来迎山大船院西方寺住職
船形萬燈籠保存会会長

創されました。その後、1312-17年、今の出町柳駅の近くにある光福寺(干菜寺)の道空上人が、西方寺に当時住職がいなかった時期であったので、これを中興し、同時に浄土宗に改宗したのでです。

円仁は838(承和5)年、45歳の時遣唐使で唐に渡っています。このとき同じ船で円行という人も渡っていました。この円行は帰国後、天皇の勅命で、船山の北側の奥に靈巖寺というお寺を建立しました。当時は北辰祭という北辰星を祭る行事がありました。北辰星というののは動かない不動の星、天皇も同じ不動の存在だということ

六斎念仏のこと

川内 今日、「五山の送り火」といいますが、かつては、年によつては灯せない山もあったようです。送り火の形には、「巳」「一」「い」、竹の先に鈴がぶら下がった形といったものがあつたようです。それらがどの山で行われたのかについても特定することができません。

送り火はなぜ始められたのか。もともと火を使う行事は中国では盛んに行われていました。それが朝鮮半島から丹後に伝わり、火祭りの人が、天皇が来られていたのに通れないのはどういふことかと言つて岩門を崩してしまつたというのです。以来その祟りによつて、お寺としての神通力がなくなった。それで降魔退していったということです。

船形萬燈籠の送り火が始まつたのは、靈巖寺の衰退で北辰祭が営まれなくなつた後のことだといわれています。三条天皇の在位は1011年から16年です。その後100年くらいかけて靈巖寺が衰退していったと考え、送り火は1100年以前にはまだ行われていなかったのだと推測されます。これは間違いなさだと思います。

北区と朝廷との関係

加藤 私たちが子どもの頃は、ここは田んぼばかりで本当に何もなかったところでした。養鶏所があるくらいでしたか。

川内 たくさんあります。尺八池に遊びに行くときは養鶏所の中を通り抜けて行ったものです。私の子どもの頃の北区は、映画「トトロ」で描かれたのと同じような風景でした。映画には結核のサナトリウムが出てきますが、薬師山にもありましたね。そこには近づいていけないと大人たちからは言われていたが、友だちと一緒に近くで遊んだり、入院患者さんからもものをもらったりしたこともあります。

加藤 御土居によつて洛中と洛外を分けるそうです。画には結核のサナトリウムが出てきますが、薬師山にもありましたね。そこには近づいていけないと大人たちからは言われていたが、友だちと一緒に近くで遊んだり、入院患者さんからもものをもらったりしたこともあります。

川内 平安時代にはすでに洛中・洛外という感覚があつたと思います。ただはつきりしたものではなかったと思います。よく「北大路通より北は京都ではない」と言われたりします。鞍馬口通までがいわゆる「町」だったのです。

田中 私西賀茂に引越してきた昭和43年当時といえ、大宮小学校の横から

生み出されていったと考えられています。

今こそ各山には火床が作つてありますが、そうなるまでは松明を燃やしていました。昭和40年代後半から50年くらいまではそうだったようです。

送り火が終わると、西方寺においては住職の読経、そして西方寺六斎念仏保存会員による六斎念仏が行われます。六斎念仏は市内各地にあります。芸能六斎が多いようです。西方寺は念仏六斎で、金太鼓とお

経の一説を唱えるだけのシンブルなものです。六斎念仏というのは、月に6日間ある六斎日に唱えられる念仏のことです。六斎日には精進潔斎します。生臭いものは食わずに身を清めて健康に過ごすと幸せがやってくるというわけです。

田中 タヌキではなく、人間の患者さんが来られまして笑。でも人があまり住んでいないところでもよく開業したものだと言っていました。ところがその数年後にはものすごい勢いで開けていきました。西賀茂の医療問題の一つは、医

院の所在地に偏りがあり、いる一本の道と、神光院さんの前の道しかありませんでした。賀茂川も御園橋からゴルフ場に向かって出ている一本の道と、神光院さんの前の道しかありませんでした。賀茂川も御園橋から

適度な開発の規模とスピード

田中 西賀茂は開発されて住宅地が広がってきているので、まだ空いている土地があまりありません。

加藤 開発のスピードも規模もちょうど良いくらいなんです。

川内 最近、西賀茂車庫から北側にかけて規制緩和されて家がどんどん建つて



います。また若い方が増えるかもれませんね。

加藤 小中学校も子どもでいっぱいなんですものね。市

送り火を維持することの難しさ

川内 ところで船形の場合、送り火には檀家さんの長男しか参加することができません。檀家さんのもと55軒ありましたが、今は少し減って52軒です。なぜ減ったかというと、長男がいなくて、つまり男の子が生まれなかった家があるからです。昔でしたら養子をもることができたのですが、今はなかなかそういうことも難しい。それで檀家は減ることになります。分家することはできます。ただし条件として一定規模以上の田畑を持つ農家でなければなりません。

地域には、町入(ちやうい)って、武家という元服と同じような儀式があります。数え年の18歳になると一人前の男として認められ、また檀家の分家として認められることとなります。町入のあとは自分の田畑だけでなく、昔でいうところの隣組、五人組の田畑も手伝わなければならない。

大宮・西賀茂という土地柄

田中 檀家も含めて宗教に対してみんなの考え方が変わってきている中では、今後お寺がどう生き残っていくかが問題ですね。

川内 ただ、そういう点ではこの大宮・西賀茂という土地柄は、まだまだ家と



田中 嘉人氏
(京都北)

んもおられますので、頭を悩ましています。地域の行事に90歳近いおじいちゃんに出てきていただくこともあります。これではいけないので、何か策を考えないといけません。



加藤 賀千雄氏
(司会・京都北)

きたと思う。ごうつしやっています。

加藤 税制によって地域を弱体化しているということですかね。

川内 分家ならいいのですが、そうではなく相続で



鍵本 伸二氏
(京都北)

田畑だけを細かく分け与えていって、農家としてはやっていけません。今は娘さんでも相続していかれま

様変わりする送り方

垣田 ところで、最近はお葬式もさなくなっていますよね。「身内だけですませました」と通知だけを後になつていただくケースが増えていきます。以前では考えられないことですね。

川内 一つの問題は葬儀業界の事情が関係している

と思います。長男が代々家を継いでいる家ですと、祖父が亡くなったら父親が葬儀を出し、父親が亡くなったら自分が出し、自分が亡くなったら息子が出す、というふう

に受け継がれていくものです。ところが独立した次男三男ですと、親の

田畑だけを細かく分け与えていって、農家としては

やっていけません。今は娘さんでも相続していかれま

すから、大変なんです。地域の人間関係、つながりというところでいうと、船形の山には独自のシステム

があります。先ほど町入についてお話ししました。若者が町入すると18人からな

る若中に入ります。この人たちが送り火の点火のとき割り木をもつて上がって走り回ることになる人たちが

す。19番目から上の36人は

中老と呼ばれる。この中老が若中を補佐します。そして55番目から上の方が年寄といつてOBとなり、現役の職からは外れます。これは明確な制度です。

いまだに崩れていません。養子にいられた人も年齢に関係なく一番下の若中からやつてもらいます。

昔は厳しかったのですが、今は上の者が下の者にえらそうなことを言うことはありません。しかし、こういった制度があることで、若い人が年長者に対して敬意を払う人間関係が作

られています。下の者をいじめるのではなく、成長させていくために何が必要かを考えて接していくという関係は、これからの日本に求められるのではないかと思います。

なつたときに葬式で、「小さい子はじいちゃんの枕元に行け」と言われたことをよく覚えています。後に研修医として患者さんの死に立ち合ったとき、指導して

いただいた先生からこ

す。私の祖父が亡く

ないとき、最近はお葬式もさなくなっていますよね。「身内だけですませました」と通知だけを後になつていただくケースが増えていきます。以前では考えられないことですね。

田中 上京区の上七軒にある診療所にお手伝に行っていたときのことで

す。その地域には若い人がほとんどいないという状況で、往診に行ってもおじいちゃん

が一人だけ寝ている。他に誰もいないのです。外

来でも人がほとんど来ない。またこの先、人が増える要素もない。しかしその

点、北区にはまだ増える要素がありますね。

鍵本 中心地が空洞化している

が、かつて住んでいた人たちはどうして戻ってこないのでしょうか。

川内 戻さないといけない

と思います。今、御池通

界隈はものすごい数のマンションが乱立しています

う言われました。「亡くなる人が自分の死をもつて何かを伝える最期のときに患者の枕元に医師や看護婦がいてはいけない。足元に行くべきで、家族の方々に枕元にいてもいいなさい」と教えられました。祖父の葬式

のときの記憶と、研修医時代に受けたそのことが妙に重なり合いました。

私は両親を自ら看取ったのですが、葬式の段取り、お寺との交渉は全部私の子どもに見せて、「次に私が死ぬときはお前たちがこれをやるんやで」と言いました。難しいことですが、亡くなり方、送り方というものをどこかで学ぶ機会があればいいかなと思いますね。

川内 われわれもやるべきことはやっているのです。お通夜とかお彼岸の

きなど、檀家さんにはそういったお話をするようにしています。おかげさまでうちは町のお寺からうらやましがられるくらい、檀家さんのつきあいが強いといわれています。本日に親戚のような関係です。

加藤 おそらくそれは京都市全体で見ると、例外的な関係でしょう。私たちの場合、お彼岸やお盆にお寺さんに行こうと子どもたちを誘っても、来ませんものね。今の話を聞いて少し反省しました。

垣田 日本から京都のお寺巡りや文化にひかれて大勢の方が来られますけれども、京都の生活実態は大きく変わっていますね。私たち自身は京都の文化の何を残せるのか、不安になります。

田中 ところが、元墓地に家を建てるのはいいけれども、目の前にお墓があるのは嫌だという感情はありますね。

川内 昔は好まれていたのですが、今は逆になっています。例えば葬儀場が近所

にできるのは嫌だという声をよく聞きます。しかし、皆一生を終えると葬式を出してもらうわけ、最期のお別れをさういふふうに扱うことがよいことなのか、非常に疑問です。日本人の考え方も大きく変わってきているのだと思

います。

鍵本 私は京都には長くない、聞けばかりでしたが勉強になりました。

加藤 今日は医療の話には入っていきませんが、こういった話の中からも医療の課題が見えてくるように思います。ありがとうございました。



observer
垣田 さち子 副理事長
(西 陣)

が、そういう形ではなく、町家を活用して若い人が帰ってきてメリットを感じられるようなまちづくりが必要でしょう。やればできると思うんですがね。

垣田 お寺さんが率先して出ているんじゃないんですか(笑)。

川内 今はそうでもないのですが、バブルの頃はひどかったですね。

またお寺の移転は、墓地の問題がかかわっています。町中のお寺の場合、もと

場がなくて不便だという声も強くありました。郊外に移れば駐車場も確保できるし、ドライブがてらお参りに行くこともできます。そういうことで郊外への移転については檀家さんも喜ばれた面があったのです。

垣田 私の近所でもお寺が出ていき、そのあと地にマンションが建ちました。以前お墓のあった土地なのに、何ともないのかと思っていたのですが、不動産業界の考えは違っていますね。

川内 そうです。お墓は多くの人が手を合わせる場所ですので、いい念がこもっている場所と考えられているからなのです。

田中 ところが、元墓地に家を建てるのはいいけれども、目の前にお墓があるのは嫌だという感情はありますね。

川内 昔は好まれていたのですが、今は逆になっています。例えば葬儀場が近所



©京都御苑管理事務所

宗像神社にやってくるアオバズク。珍しく昼間に目を開けている様子を撮影した1枚。日中は目を閉じてじっとしている。



©京都御苑管理事務所

京都市の真ん中で、野生のフクロウが観察できることをご存じだろうか。京都御苑には、毎夏アオバズクが営巣を行い、はるばる東南アジアから飛来する。青葉の頃にやってくる。アオバズクの多くは4月下旬頃に飛来し、5月下旬

都会のフクロウ アオバズク

るから「アオバズク」。楠など木のほこらで生活する、フクロウ目フクロウ科アオバズク属の鳥である。この鳥について教えていただこうと環境省自然環境局京都御苑管理事務所の職員にお話を伺った。

全長は約30cmで、意外と小さい。猛禽類だが、主食は昆虫。雛鳥には昆虫の羽をむしって与えることから、巣の下には昆虫の残骸が多く残っており、そこから御苑の昆虫相の研究も行われている。営巣は少なくとも2カ所、多い時には5カ所確認されたこともある。御苑の南西に位置する宗像神社は、1992年9月29日に「京都の自然二百選」でアオバズクの営巣する森として選定された。最近ではカメラを趣味とする人たちが多く訪れ、雛鳥の巣立ちまでを見守っている。

ところが、私が最初に手にしたものは、ブラジルのふくろうでした。二十数年前に神戸の病院に出張勤務していた際にいただいたものです。その病院の臨床検査技師長さんが、京都へ戻るときの餞別としてプレゼントして下さいました。ごく小さな宝石のような石をいっばい張り付けた小さな置物でした。「玄関に飾るといいですよ」とおっしゃって、おそらく魔除けとか幸運が玄関から来るとかそういった意味だったと思います。その後十数年を

ふくろうの置物は、日本では「不苦勞」（苦勞知らず）とか「福来」（福が来る）とか語呂合わせで縁起物として扱われ、全国のお土産店でも見かけるありふれたものかと思えます。

梟（ふくろう）

向井 滋彦（西陣）



を経て、北野天満宮の縁日、いわゆる「天神さん」の日ですが、おそらく以下の通りに、露店でインドの透かし

彫りのふくろうを見かけ、何故か魅かれるものを感じて買ってしまった。そして間もなく、京都の書店の丸善（残念ながら今はありません）でふくろうフェアが開催されていて、同じような透かし彫りのふくろうを何個か購入し、さらに仲間が増えることとなりました。丸善とふくろうの関係はいかに？

最後に、私のお気に入り

から6月中旬にかけて産卵、抱卵する。6月下旬から育雛期に入り約1カ月で巣立ちを迎える。雛鳥は、巣立ち後しばらくは巣の周辺で親鳥と生活し、狩りなどの技を磨く。しかし、最近では巣立ちを迎えるまでに、巣の周辺から姿を消すことが多いとのことだった。

フクロウ科の鳥は夜行性で、日中は木のほこらなどで休んでいるというイメージがあったが、アオバズクは卵を温めるときにしかほ

こらに入らず、それ以外は木の枝に止まっている。観察にはもってこいの鳥である。昨今の大きな悩みは、一部のマナーを守らない観察者とのこと。過剰に近づきすぎる観察や撮影、親鳥の鳴き声をテープ等で流し、侵入者と誤解させ無理に目を開けさせ撮影するなど、アオバズクにストレスを与える多くの事例が報告されている。こうした状況を改善しようと、観察者同士で

四季折々の御苑の動植物を観察している。ご興味のある方はぜひご参加を。参加費100円（保険料）。問い合わせは管理事務所まで（075・211・6348）。



(有)アミスのマスコットマークは女の子のミニズクです。

味するからでしょう。

古代ギリシャ「アテナ」の守護神アテナが従えていたのがふくろうで、聖なる鳥とされていました（かのパルテノン神殿に祀られている女神が、アテナです）。アテナは、学問・知恵・技芸の神で、ふくろうが知恵の象徴といわれる由縁がここにあるようです。

ということで、凡人の考えとしてもっと知恵を授かるうと思いい、ふくろうの置物を集めるようになってしまった。実は結構奥が深くて、ふくろうは世界中で愛されています。その証拠に私が所有する100以上のふくろうのコレクションには、中国、台湾、インドをはじめ、メキシコ、ウルグアイ、スペイン、ギリシャのものがあります。

特集2

ふくろう



京都府保険医協会

川からやってきたふくろう

村井 歌 (乙訓)

昔、旅先の宿で聞いたその鳴声につよく惹かれ、ふくろうに関心を持つようになった。ふくろうは意外に人里近くに棲んでおり、人間に親しまれている鳥だと知った。そして人形化されたふくろうはその土地の風俗をとてもよく表している。面白い。空港の売店などでもよく見かけ、手ごろな軽さと価格でつい買ってしま

い、いつの間にかやらかが家

「森へ帰りたい」ふくろう



には世界中からプチふくろうが集まった。私は一時期、高知に住んでいた。高知の川は大きく美しい。四万十川は西へ、のまん中を仁淀川が南下して土佐湾へ入る。仁淀川の源は、四国を東西に走る四国山脈の最高峰石鎚山である。標高1982m、西日本の最高峰なのだ。その頂上は岩峰で、かけ



お気に入りのふくろうと(上)、村井氏のコレクション(一部)



河原で色・形のよい小石を拾い、簞笥にして楽しんだ。当時、1人の若い彫刻家がこの川石に魅せられて東

京から移ってこられた。見事に石が刻まれて生まれ変わるさまを見、私はぜひ仁淀川の石でふくろうを彫ってほしいとその彫刻家に頼んだ。川に浸かり歩いている素材石がしに

引き揚げられ、アトリエへ運ばれ、ふくろうになっていった。身丈約30cm、胴まわり約40cmの黒っぽい石のふくろう。たたんだ羽部分は褐色がかり、細い傷痕がかえって羽根らしく見える。まだあどけなげの残るまん丸い黒い瞳が少し身をよじって空を見上げている。作者のつけた作品名は「森へ帰りたい」と少し切ない。わが家のふくろうは高知の仁淀川から生まれた。高知の石は硬くて重い。けれども京都へふくろうを抱いて帰った。今もいつも私のそばにいてくれる。

梟

谷口 謙 (北丹)

大きさ カラス位

顔 灰白色

額 褐色

夜 出てノネズミを食べる

背面下部 灰白色の地に褐色

森の繁みや木の洞に住む

宮津中学に汽車通学をしていた頃

ぼくは仏間に独り眠っていた

夜 前の神社境内から

ほーほー

梟の鳴き声を聞いた

朝早く起きねばならぬ

努めて鳴き声を殺そうとした

だが

いつからかその声を聞かなくなった

八十四歳の妻の証言

昭和二十五年嫁いだとき

夜 鳴き声を聞いたと言う

歳時記によると

冬の季語

ずくとも言う

木兎は眠るところを刺されけり

木兎の目ばたきしげき落葉かな

乙 半残
由

①ご友人から贈られたドクターふくろう、②マイセンの陶器、③象牙を彫刻したもの、④地下に飾られている剥製、⑤お土産などでいただいたふくろうたち(一部)、⑥ヘレンド社製の陶器、⑦マイセンの陶板、⑧一番のお気に入り清水焼葉松谷氏のふくろうと武田道子氏、⑨⑩⑪小嶋克山氏の信楽焼・陶板、⑫⑬玄関に飾られた信楽焼・布引焼など、⑭北村隆氏の九谷焼



4000のふくろうに囲まれて 武田道子氏の コレクション拝見

武田道子氏(武田病院)のふくろう収集のきっかけは、20年前のお孫さんとの東北旅行。道沿いにあった無人の小屋に、一つだけ寂しそに残っている、ガラスのふくろうを見つけて購入したことから始まった。5年ほどをかけて約6000〜7000点のふくろうを集めたところ、そのことを雑

誌「家庭画報」が特集。知人に一気に知れ渡り、お土産など現在では4000点以上のコレクションが家のあちこちに飾られている。最近では、知人が飼っているコノハズクを引き取ってもらえないかと声をかけられたこともあったと、笑っていらつやつた。

まずは玄関にて信楽焼陶芸家の小嶋克山氏、九谷焼陶芸家の北村隆氏のふくろうがお出迎え。作品の大きさに驚きつつ、リビングへ。こちらも見渡すかぎりのふくろう。香木彫りや陶器、象牙彫刻、陶板、剥製とさまざまなふくろうが所狭しと並べられていた。国籍も多彩で、ふくろうの表情が国によって全然違っ

た。コレクションの中で一番のお気に入りとは? と尋ねると、清水焼陶芸家の名匠、叶松谷氏の作品をあげられた。ゲストの欲しいも



六角堂のフクロウ

聖徳太子縁の寺、六角堂(中京区烏丸通六角東入ル)にフクロウ? 境内の立派な楠の樹上をよ〜く見ると、こちらを静かに見下ろすその姿は……実は置物。協会事務所の目と鼻の先です。お近くにお寄りの際は、ぜひ目を凝らして探してみてください。あなたは何羽見つけられますか!

捜査地図の女 撮影顛末記

渡邊 賢治 (西陣)



普通の渡邊医院の院内掲示(上)、撮影時には松原医院

突然、東映から電話がかかってきました。木曜ミステリーで、真矢みき主演の「捜査地図の女」という連続サスペンスドラマを企画し、そのロケ地として診療所を欲しいとの内容でした。木曜ミステリーといえ、ば、「おみやさん」「京都地検の女」「科捜研の女」など、医師にならずに刑事に

なり、診療所は夫役の渡辺いづけが継いでいるというものでした。ちなみに真矢みきの母親役は草笛光子でした。いよいよ撮影です。撮影隊は照明、美術、音声、メイクの人たちなど総勢約30人もの人たちが集まり、撮影していきま。写真にもあるように、何もない診療所があつという間に撮影現場と変わっていきます。また渡邊医院は、今の診療所の雰囲気を変えていく松原医院へと変わっていきます。待合室にある火鉢もそのまま使い、第1話ではアップで映ったりしました。診察室は松原医院が「内科・アレルギー科」なので、肝門科の渡邊医院にはないもの、たとえば



真矢みきのサイン入りポスターと

ても面白い。さて実際の撮影ですが、同じシーンを違う方向から何度も撮ったり、またアップのシーンには俳優さんたちの華やかさと相反して、地道な作業の繰り返しでドラマは作られていくのだと感じました。また昼間に夜のシーンでは、まっく、反対に夜に昼間のシーンを撮る。そのために、2階から照明器具で1階の待合室を照らし、昼間を作ったりします。「この角度で(照明器具を)絶対に動かすなよ」と照明スタッフに指示しているのを見て、ふと



医院での撮影の様子

思い起こしました。しばらくたつてから見に行くと、砂囊などを使ってしっかりと固定してありました。「撮影ではなんでもできるんですね」と聞くと、「大抵のことは何でもできますよ」との答え。さすがプロ。全部で5日間撮影。あつという間の出来事でした。突然の電話から始まった今回の撮影。とても楽しい経験させてもらいました。今も京都のどこかで同じように撮影をしているんだなと思うとともに、撮影が終わって何となく寂しい気持ちもあります。「捜査地図の女」、人気がでて「新・捜査地図の女」とシリーズ化して、またこの楽しい経験ができればと願っています。

文化講座参加記

京都で学んだ「もののあはれ」

本居宣長の原点と考察

岡田 楯彦 (中京西部)

協会は、佛敎大学歴史学部歴史文化学科敎授の斎藤英喜氏を講師に招き、11月4日に第12回文化講座を開催した。テーマは「本居宣長が見た京都と『古事記』」。参加者は38人となった。以下、参加記を掲載。

今回の斎藤敎授の講義を

聞くまでに私が本居宣長に

ついて知っていたこととい

えば、彼が江戸時代の国学

に隠れていた古事記を今の

ようなメジャーな本にした

のは本居宣長であり、彼が

そのように古事記に大きな

例に取り解説されました。

最後にこのような興味深い講演を企画していただき、ありがとうございます。会員先生方の多数のご参加を希望します。



参加者でいっぱいになった文化講座

だりしない軍人として描かれています。儒敎が喜怒哀楽を顔に表さないのを徳とするのに反し、本居宣長はものの動きに触れて動く人間の感情をあるがままに肯定し、そうすることが「もののあはれ」を知ることだしました。私としては、神話の中にどのような歴史的事実が含まれているのかとか日本書紀と古事記の違いをもう少し詳しく聞きたかったのですが、やはり時間に制約があり、それはしないものでありましょう。

協会会員のための企画

お申し込みは京都府保険医協会事務局(☎075-212-8877)まで

院内掲示ひな形集(診療所版) CD-ROMを作成!

必要な院内掲示事項の解説と掲示内容のひな形をPDFとWordファイルで収載。

グリーンペーパーで連載した院内掲示事項の解説も縮小版としてセットしており、大変便利!

この機会にぜひご利用いただき、院内掲示事項の整備にお役立て下さい。

定価 5,500円(税込・送料別)

会員特別価格 1,000円(税込・送料別)



お問い合わせは京都府保険医協会保険部会まで

開業に必要な情報が盛りだくさんの講習会です!!

新規開業予定者のための講習会

日時 1月27日(日) 午後2時~5時

場所 京都府保険医協会・会議室

内容 ①先輩開業医の事例から学ぶ、開業準備のチェックポイント

株式会社日本医業総研シニアマネジャー 田中 徳一氏

②先輩開業医からのアドバイス

いしだクリニック院長 石田 敏博氏

③地区医師会への入会手続き、保険医協会の共済制度について

参加費 会員:無料、非会員:2,000円

共催 有限会社アミス 定員 30人

※当日ご参加いただいた方には『診療所開業 プロの技に学べ!』(株)日本医業総研編著を1冊進呈いたします。